

基本目標1

子育て・子育てを応援する制度の充実
～家庭の子育て・子育てを応援するまちづくり～

		施策としての到達度			
		(外部要因も含めた総合的な評価)			
施策番号	施策の方向性	目標到達	概ね期間内に目標到達見込み	目標到達に課題を残す	目標到達に重大な課題を残す
①	相談・支援体制の拡充	■	□	□	□
②	在宅育児応援サービスの継続	■	□	□	□
③	子育ての経済的負担の軽減	■	□	□	□
④	地域子育て支援拠点の充実	■	□	□	□
⑤	教育・保育事業の充実	□	■	□	□

【主な事業内容】

- ◎ (事業名)子育て相談・支援体制整備事業
子育てに関する総合的な支援の中核施設である飯田市こども家庭応援センターでは、子どもの発達に関することや児童虐待予防に関する機能のほか、就学相談等の機能を有し、関係する専門機関等へつなげ、その後の支援に努めた。相談対応1,138件(児童養護、子育て、発達、教育相談)
- ◎ (事業名)ファミリー・サポート・センター事業
家庭において育児の手助けがほしいとき、支援を必要とする人と支援できる人が互いに助け合い、地域の子育て力を高める一助になっている。ひとり親世帯等の方を対象に、利用料の半額(月1万円上限)補助を開始したことにより負担軽減に努めた。また、事業に関するポスター・チラシを制作し保育所、小学校を通じ保護者へ配布し援助活動の広報を行った。
- ◎ (事業名)地域子育て支援拠点事業
社会からの孤立感や子育ての行き詰まりの防止、育児に対する学びの場、情報交換や育児相談の場として日常的に集う子育ての地域拠点事業。市内12カ所にて運営されており、子育てアドバイザーにより定期的に情報共有や研修会を開催している。座光寺つどいのひろばは、指定管理者制度を導入し2年目の運営。利用者ニーズに沿った工夫された運営や地域とのつながりがなされている。

【取り巻く状況の変化等】

- 幼児期における質の高い学校教育・保育の総合的な提供や保育の量的確保のため、未満児保育のない地域においては、家庭的保育事業についての学習会を提案し、地域内において一体となって検討を開始した。
- 子どもや家庭に関係する相談件数の増加、子育ての不安や養育が困難な家庭に対しての養育支援家庭訪問が増加傾向にある。このため様々な支援ニーズから早い段階に社会資源と結びつき、保護者と支援者が信頼関係に基づき子育てを協働することが重要である。

基本目標2

子どもの発達と親子の健康の確保及び増進
～子どもの発達と親子の健康を支えるまちづくり～

		施策としての到達度			
		(外部要因も含めた総合的な評価)			
施策番号	施策の方向性	目標到達	概ね期間内に目標到達見込み	目標到達に課題を残す	目標到達に重大な課題を残す
①	一貫した発達支援体制の整備	■	□	□	□
②	食育活動の推進	□	■	□	□
③	子どもの医療費助成の拡充	■	□	□	□
④	子育ての学び合いの推進	□	■	□	□

【主な事業内容】

- ◎ (事業名)途切れない発達支援体制整備事業
庁内関係部局及び市立病院等により構成された飯田市発達支援体制整備協議会を開催し、より一貫した支援体制の整備に向け、支援ニーズに対して適切かつ効率的に対応するための協議を実施。また特別な教育的配慮が必要な子どもに対する教育環境や支援の実施について就学相談説明会を開催し、飯田市の教育支援の実態についてPRを行った。
- ◎ (事業名)母子健康手帳交付事業
母子健康手帳は市役所保健課窓口で保健師により交付。自治振興センターで交付する場合も予約制に変更したことにより100%近く保健師から交付された(前年度までは保健師が不在の場合、事務職員が交付)。交付の際、子育て応援アンケートを実施し妊婦さんからの不安や悩みなどを聞き、地区保健師と情報共有することにより支援に繋ぐことができた。

【取り巻く状況の変化等】

- 産後ケアの支援として産後の心身の健康等について助産師へ相談しやすい体制を整える中で、出産後赤ちゃんとの新生活をスムーズにスタートさせるため、心身のケアや育児サポートが受けられる宿泊型の支援について検討を行った。特定不妊治療については実施する医療機関が遠方であるため、近隣で治療できるよう検討した。

基本目標3

子どもが健やかに成長するための環境整備
～子どもの育ちを支える教育・健全育成のまちづくり～

施策番号		施策の方向性	施策としての到達度			
			(外部要因も含めた総合的な評価)			
			概ね期間内に目標到達見込み	目標到達に課題を残す	目標到達に重大な課題を残す	
①	放課後子どもプラン推進事業の拡充		■	□	□	
②	子どもの「居場所づくり」の推進		■	□	□	
③	地域力による子育ての応援の推進		■	□	□	

【主な事業内容】

- ◎ (事業名)放課後子どもプラン推進事業
放課後子ども教室は、丸山・竜丘・下久堅・追手町・座光寺小学校において引き続き運営し、体験学習や地域住民との交流を行った。放課後児童クラブの開所時刻を18時から18時30分までとし30分延長したことにより、利用者ニーズに沿った運営を行った。(一部地域を除く)
- ◎ (事業名)地育力向上連携システム推進事業
キャリア教育における小中学校と高校との連携の在り方について、キャリア教育研究委員会において高校の先生方も参加し検討した。またLG(地域・地球)飯田教育を中核に据えたキャリア教育の推進を図った。

【取り巻く状況の変化等】

- 市内において、子どもに係る支援を行っている個人や団体が一堂に会し、それぞれの活動実態等について意見交換を行った。子どもの貧困という枠に縛られることのない、様々な子どもの居場所づくりとして、広い意味での子育て支援が必要であることを認識した。

基本目標4

仕事と家庭生活の両立の推進
～子育てと仕事の両立を支えるまちづくり～

施策番号		施策の方向性	施策としての到達度			
			(外部要因も含めた総合的な評価)			
			概ね期間内に目標到達見込み	目標到達に課題を残す	目標到達に重大な課題を残す	
①	親の働きやすい環境づくりの推進		□	□	□	
②	仕事と家庭生活の調和を図る「ワークライフバランス」の推進		□	□	□	

【主な事業内容】

- ◎ (事業名)病児・病後児保育事業
病気の回復期(又は回復)に至っていないことから集団保育が困難な児童で、かつ、保護者が勤務等の都合により家庭での保育が困難な園児・児童を預かる事業で健和会病院に委託。保育時間を16時から18時に変更したことにより利用者ニーズに沿うことができた。利用者は831人の受け入れを行った。
- ◎ (事業名)ワーク・ライフ・バランス推進事業
仕事と家庭の両立に取り組むためには、家庭、事業所、行政が一体となって取り組むことが必要である。仕事での生産性を高めながら充実した家庭生活を送ること等について、グループワークを取り入れたセミナーを開催した。ワークライフバランスの普及のためには、今後も更なる啓発活動を行う必要がある。

基本目標5

地域のみんで支えあう子育て・子育ての推進
～子どもや子育て家庭にやさしいまちづくり～

施策番号		施策の方向性	施策としての到達度			
			(外部要因も含めた総合的な評価)			
			概ね期間内に目標到達見込み	目標到達に課題を残す	目標到達に重大な課題を残す	
①	地域のみんで支えあう子育て・子育ての推進		□	□	□	
②	地域の連携による子育て応援の推進		■	□	□	
③	安全安心のまちづくりの推進		■	□	□	

【主な事業内容】

- ◎ (事業名)ながの子育て家庭優待パスポート事業
18歳未満の子どもがいる世帯が協賛店舗において「ながの子育て家庭優待パスポート」を提示すると割引等のサービスが受けられる事業。平成29年度は子どもが3人以上いる世帯が対象になるプレミアムパスポートが有効期限を迎える年度であったため再交付を行ったことにより当事業について周知ができた。また多くの世帯にサービスを活用してもらうため、保育所、小中学校のほか新たに高等学校に依頼し保護者あてにチラシを配布した。